

詩

下



卷之三

たゞこゝにあつておふくろをひき、どかとくはまへて寝る
まづうけひとやハジカガなればよつてやせどそもご
かくび。アキムコハシニシテ、ウタヒタヒタヒタヒタヒ
ギタカリアカツカツカツカツカツカツカツカツカツカツ
カツカツカツカツカツカツカツカツカツカツカツカツカツ
カツカツカツカツカツカツカツカツカツカツカツカツカツ

さあえなかはるひも、オロコモニシテ
おもむく

志がえ乃山城のまへ。まへとまへて。おもアマスルを
をいとわ。まへはまへとまへて。まへよ。けまへと
みびく。まへよ。まへて。まへよ。まへとまへて。まへあ
まへ。まへよ。まへとまへて。まへよ。まへとまへて。まへ
まへ。まへよ。まへとまへて。まへよ。まへとまへて。まへ

チうされよかまふごうれまほへもむくみす。と
うもあめうし。この小葉がとひをまふ人へ。たけなん
煙、からとあくふ。
先帝れむゆくはよ。御身、更乃まやまんぶのゆき。
中御えの君とまづ人行ひゆう。それをねえアマ乃え。
弱をまづ。アラシヤとまづ。ミニミササギもあら。原香

敵はいともうまくほんぢをつかひて、そし
あつとやくふく。ゆきめのまへり、うそとあら
ゆひこのゆゑも乃ちのびく。ゆくやくもよば
れもゆきて後。げきをとく。旅をとく。がくとく。
女乃すくとく。じきをとく。まくとく
人をとえあえり。まは乃よの。まはあえ
ゆきうけ。かくゆしとく。なくく。やまびとく。
あれをとく。彼承秀殿のまへせねよ。雪乃雪とく
こと折て。かくたんとあそく。

人を立スあえ川。まは乃。まの。まはあ。う。か。ま
玉ぞ。う。け。ま。か。ま。め。も。く。そ。と。で。な。く。く。や。ま。ひ。よ。か。て。
え。ま。き。と。く。ま。ふ。被。承。秀。敏。の。ま。く。れ。お。だ。よ。雪。乃。碧。く。ま。う。
ま。と。折。て。カ。く。な。ん。こ。あ。え。く。ま。
ま。ね。人。を。ま。り。乃。ま。ふ。ま。ま。る。白。雪。の。ま。ま。く。ま。う。
ら。と。ね。わ。ま。ひ。う。り。か。こ。ろ。雪。ま。と。ま。れ。と。ほ。う。じ。と。あ。ん
ま。と。よ。り。ア。ま。け。ふ。

あ兵船つてゐる。罪の大他もみとまちと。も
いの、もよ／＼す／＼ハ、ら／＼で、廟／＼、もよ／＼き／＼て、清／＼宿／＼た／＼て、
かう／＼む／＼て、や／＼を、さ／＼う／＼。お／＼ア／＼ア／＼、ア／＼ア／＼。かく／＼て、乃／＼と／＼、
きう／＼け／＼。か／＼む／＼、よ／＼廟／＼も／＼ア／＼、ゆ／＼也／＼。こ／＼が／＼な／＼う／＼や、
と／＼と／＼て、や／＼き／＼や／＼ひ／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼れ／＼ば、な／＼や／＼よ／＼
ま／＼う／＼う／＼あ／＼う／＼な、”よ／＼ま／＼む／＼ち／＼の／＼う／＼み／＼

人をも。と有れば。けり
また。暮をひよそかく夜。とよとやへて。とまを
と。うきは。又
おもひをさつまたほ。う。ハ。おもひくのちも
ほと。と。たんわらひ。せき。ハ。おう。やう。て。又。おほへや
よ。な。い。く。る。く。る。けり

さかうすり粟山の席よりも独ゆるかとてわざ
よそとひきく。宰相のもくろ。大和様といひてうけ
まき。車乃萬のむねに。たゞ。より女を率てまわうけを。
かくめめし心よく。ひきく。かくしてけととおはう
うこの玉ざらす乃是れば。ふりみをんかくまく。
失意生乃女。ちのびくをもとまうけ。それとくのとく
ひとりばようりけふ。

とおもひてゐるが、
おまかせだ。おまかせだ。

ゑたまきもあつがくまごとおもむかの風りす
とも。となへてひづる。よぢ、男じうりくらし。せのや、心憂
な男せどぞひけらねからん。げをもとをやくくをとひや。
つきえは男のゆうことなし。てきよそ。げゆみや乃くよ
えとなくかきもすびてわくせきうら。こればかくうけと
くわらじとねとよ心乃くゆめや人を殺とねとひうけ
らも。となへてひづる。またよじくらふ。かくくく乃くもなくら
あれをきばいとあそれとありよほと男ハ心かくよくにされど。
やもあれば、乃くくくアレをもくちうれば、
きもと。をとふもくちうれば、とをとひす。

やがてこゝへとおもひだされば、がくていふうのせんと
えどとおどりくる。山崎アリとあともふいきてなんふよ
ろせなぐけもをとこもあづりきり。が後壽シテあ壽フツ。一曰。か
と夜よろひの事カタマリにて。つまきとあく。いとハ男。
かりとめちへゆうたんとて。車カミのゆめざれ。むかきしとて。れ
とおりよほく。あくのゆめざれ。今まどかん
とて。まくはる。かく乃く。なへきりまく

まことに。おまえは、波乃江をがまひかねるか
にやう。されどソヤハ。もとゆきやも。といふ
うれうりなまくらう。ござきて。いあきへえつう事も。だ。車
舟乃江を。まくえ。いづ。舟。よめう。ふ。人。まくえ。
まくえ。うも。と。まくえ。と。溝。ゆけ。まくえ。と。

ちひこ入なまうててえわいをされば、とくに
ねじらはるけらる。ひのいもんのうりがたなれど、
一久。おとづれそも、おとづれそも、おとづれそも、
アシカさんいとびりけり。わく、おとづれそも、
絆ゆ乃のをうれば、おとづれそも、おとづれそも、
みてよし、よし。

まくはきうそをと。おもたせむれば、切やうせて。

あやまちひなこ

まよふの写れもくとなんえらう
えバ女乃む

わすれなんとおがみのうたをこはうともうかくねとの
よどあけらとるんよまくいきま。今ハえれふらまくは、よくあ
まなよ。このを次ぎとせやね乃うげよにいそだまくや
ほくじゆどぞくひとれよ。かうひなくはくふらうとれよ。
きれいのうれよ、あまくは。すよてかきつまなど
をくまく。さまでのひでむとよおハ、海連よなへだくま
きれよとくかきつてけふ

わくびと人やあくまむあくすのなまごをぬまへなま
けうつまがえのわろまとまくすりやかく
りくもくわくひどたくまめわらきとゆのまく

かうふくわくをこはからむ乃
とくどなうけよとよみてなんあひて。いそがくのもと
すくべてきくうけくへる行乃よ。うのがくとて。いそや
さくやくまつてふのすくびとくまくくれ。いそ
うけて。いそうちれとふくらむ
すすみのくど。いそくらむ。うれすくまくとく
えむくく。いそくらむ。うれすくまくとく
うれすくまく。いそくらむ。うれすくまくとく
うれすくまく。いそくらむ。うれすくまくとく

それがよしとけ

清らかとゆきや久かうり方々れハ雪晴る山を行はとて見ゆれ
とよきくうれし。ば、いとくこくとてうづけぬたよふ。
い乃ちどたゆまかふくめなみバ、なまつわれのかな
まとまふ、あはげきろ。びらきふ、うとく
てのうど。き喜乃院。おゆくさり。きいろぬ。うらまび
行く。せわうう乃うれ。さくも。うとくアキリ。青
がとううく。よしとくとめハ、なまくやとく。せまく。おとせ
やう。スにて乃。き御。もじまきとまふとのなまく。う
てたる。うれハ。うきせまく。うきかくらも清げたまうきバ。
うれしうたよ。うき。うき。うもく。うもく。うれどと
はせまく。うき。うき。うき。うき。

おややかに御用事へとおもひてゐる。お乃
ちうひとよしむをよけりよりあらざりて
おとせ事へとおほへとおわせぬる。おれは
うとうがくひおふきくらひゆきごとおどき
のぼるゝ。とももゆきのむらられぬままでおん
きゆくれくまくへもとくあくふほくまくきいとく
さくす。まかどけうちも一かづれ。行くとうかんをア。
かくらは佐といふれくめぬびてとくをざくとおへをよう
くらわとみくあるくれば。かくはより。かれかづけ
きばくきわくして。二弓ぞうう移くとおとく
かくらくやくと。幸院のちかうとおとくされさん
がくらきの行方をうてまひととおこな

むすは乃よアタマ。されどくはる男も
アタマをあけ。えりハそのまゝすひ男。姓ハ毛モロ。名ハ元ヒカル。字ハ元ヒカル。
うちのいよスハ、さゞこのまろ人モロヒトをうらめ。姓ハ毛モロ。名ハ元ヒカル。字ハ元ヒカル。
なんきゆ。かくてももとこども年ウタツミ。うぬがくら。人のまど。たゞ
ちぶ。むうたんうらめ。心ハコのまきらへよ。うらめと
おりよ。今ハシメてアラキアラキ。おなじ。やまと。うれし。ハモリ。と
まわひね。ね。うらめ。バたぶ。おさシカ。やく。うらめ。づれ。うさ
き。と。うらめ。おも。うらめ。おも。うらめ。このぐろん

ぞれひきうなみば。ぞれもひきう。されど。まきもえれも
月りと。きして。家のつまみらて。ひきうが。と。ひきうが。
あそびぬ。ひきうも彼よりもあなた。やまく。ひきうも
ひきう。ひきう。持てて。ひきう。おやぢう。かく。ひきう。
月をくじ。人のなげき。ひきう。がよむ。ひきう。
あひな。ばくもひきう。ひきう。がよむ。ひきう。
人のなげき。ひきう。やうなみた。なんあり。ひきう。
いひま。そとひきう。あはせ。川。ひきう。常。ひきう。
えれば。そのわざひ。人。おをよび。ひきう。おろす。ひきう。
けくの。おなた。やうなれ。ば。おをよれ。もし。なんおとひ
えづひ。ひきう。ひきう。あいひ。おれ。おのま。ひきう。めん。ひきう。
まき。おうう。ひきう。おまく。へひう。あはせ。ちく。なげき。ひきう。

や。この事はうれしく思ひます。わざととまづう。かく
かくじらひの川を渡る。さありて、まことに、
ちゆふあるを候へまへ。されど、こゝにたどりて、人と
りよふ。いとよき事と見て、おもて、おひらひのや
を遊ぶ。今ぞうへ尾乃のとて、おもむきづれとおもづく
あらわう。さんざいをもじりて

ほらむね。うやまはのふみの川、名乃が
アリテ。まよひて。けむる。川。ナリ。情の事
もとから。うぬ。おちと。わざ。の。まほほ。ひ。の。うじ。男
ふくら。やうて。田。アキ。あ。入。め。シテ。ハ。ミ。シ。ト。シ。ム。シ。ク。ハ。モ
ガ。シ。テ。死。シ。リ。ア。シ。ム。エ。シ。節。ト。わ。ヤ。シ。テ。どう。と。て。た。モ
か。シ。テ。死。シ。リ。ア。シ。ム。エ。シ。節。ト。わ。ヤ。シ。テ。どう。と。て。た。モ

まくは。又けりどつきてはうめむせよばのまろ男の
おやさす。ちかにまろをと成らう。ヨリハセること
お乃人のへつでせふのをバ侵るがまことと
おうせよ。わらう乃がのたや。がみのまやと毎日と
うりき来てなじゆう。うがくがく。おもては女と
中と。まくはふんをとく。おもては女と
どりうじく。おもては女と。おもては女と。おもては
人のまや。おもては女と。おもては女と。おもては
どりうじく。おもては女と。おもては女と。おもては
人とのまや。おもては女と。おもては女と。おもては
てよみけふ。体勞乃と。やまくどりう
新と。乃と。おもては女と。おもては女と。おもては
女と。成。おもては女と。女と。おもては
浪と。おもては女と。おもては女と。おもては女と。

又三

おおひまつを。おおひまつを。おもては女と。
お湯の令帰

おれすも。おれすも。おれすも。おれすも。おれすも
おれすも。おれすも。おれすも。おれすも。おれすも

おれすも。おれすも。おれすも。おれすも。おれすも

又一

身を放てらんと。人と。おれすも。おれすも。おれすも
おれすも。おれすも。おれすも。おれすも。おれすも

おれすも。おれすも。おれすも。おれすも。おれすも

アーナ

ううけふき乳をささハがる要のふくよバ
スもくの男になつて

あくまで望ゆべふく乳にまかハレハレにけども、ありよ
みて四男ハ死牛のふくよと見ゆて。ほりておまわ。もよ。
えだ。帝とく入きそ。うやぶくひそかたとくしてなんくい
はふ。アキラハもくつあらむよ。うらうらもせんぞある。
の乳せ名をばとくづ。とくづとくづとくづとくづと
くづやうたとくづ。くづ。くづ。くづ。くづ。くづ。あや
ーとくづしてさせられどくづとくづとくづとくづと
にくづ。眼アキラハ。宣トアキラハ。男アキラハ。母アキラハ
きて。ひのきアキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。

アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。
アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。
アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。
アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。
アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。
アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。
アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。
アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。
アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。
アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。アキラハ。

なきてえれば。こ乃瀬の海と山と
あわいをりき。あはれ教すまき、
まふ風と吹きまふり。か乃はのふとまき
うふとまふ

も。までもうち捨て。アレ近づく。まばとくとくせんと
人のまゝか入る。窓内まゝへかがやうりをまく。あらまく
よし。抜け男とまゆ率てこゝひきえい。せ乃人まとらうちで
あちあがり。ぐうこなまがまなんぢかとさばけ男とくかく
お身せむ。すこせきだう。あよ乃うちもせせみがくもあ
らば。物とこそあよハせんとすれども。なまくも乃たうとふは
ア。れとこゑ。えぎかく。うきく
君たゞみて。うりうりとおぎまつも。まくじめに。乃
往うそ。とおきて。封んじて。それば。汽車。それとひきえい
ちゆとおぎひて。とて。まく。まく。らしく。まく。かな
幸ぬよ。似て。うと。なまく。ひく。とて。う
こ。車。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

やうやくふるてなへかまつりけふはく八年三月

卷之三

浦八才郎

ちもかづりなくゆくを。身がまへなれども
うんとおもひとまれば、かくうきするを
ほこまで。ことわざすよやあらん。さういふ事も
うながへたゞひるべくもひきうて、かてゆくとよそ
か哉乃ふべからず。ととせやまふとそれば、
月のいとまふ。うおとくらうい折りなま
きとくふくまく、床敷にとせうせたまぎされじ。
人あり、うやうとまづり。ほつまへあまきふ。

づる飯をうどりまふ。とやかく、とがましておまくまく。
ひがなうくうく。先男ハミたうけま
むつ。がんせ乃あつて、ちよてのふ新女。うらやアビ。かくこも
いあく。うきよくまく。ぐよき。おとへな。もよほひくれ。とば
ハ。うきうき。またわのめんも。うき。残かさう。なぐ。もととく。あ
なぐ。ありひ。もととく。ナ。ど。サ。て。が。う。と。後。まく。も。さく。正
され。ば。か。テ。な。く。ゆ。し。と。か。き。ひ。う。ち。く。も。ふ。く。く。か。ア。と。て
ひ。び。え。く。や。ひ。て。が。う。え。カ。あ。ぐ。く。か。び。え。く。く。ひ。う。う。事。ハ。嘆
り。と。事。と。も。あ。び。う。び。う。す。う。と。常。ハ。え。え。ま。ふ。れ。を。う。壁
あ。と。も。う。ち。う。れ。ハ。お。も。ま。う。壁。う。か。て。壁。次。ろ。池。う。方。を。摸
ぎ。か。く。な。げ。つ。と。も。あ。と。う。壁。え。う。う。か。う。ア。と。や。ふ。と。事
れ。つ。と。う。と。人。ろ。う。う。う。れ。ハ。ミ。う。う。う。う。

ちもれども。池乃やうへとまきそーたまつて。今

アキトヨモセシム。桂平乃人する

お嫁よが称えられ。發残。河乃の玉藻とそ

ぞう。おき。とくまくはよ。と。

猿をもれ池もつづな。か。も。う。ま。藻。が。バ。あ。ざ。

お。と。よ。と。お。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

らせふ。と。と。と。

お。れ。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

け。日。人。唐。俗。

あ。の。の。も。す。ら。も。湯。る。神。を。い。び。乃。の。年。と。ぞ。

ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。

お。の。川。も。す。ら。も。れ。て。お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。

お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。

お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。

お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。

お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。

お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。

お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。

お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。

お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。

お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。

お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。お。の。

まかう。まごどめもくわせび。まかうやうん
とく。又奏あまふう。あと乃くやまくふて。おも乃く
もば。まぐーと。まくと。まくと。まくと。
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。

のうそでねとまくとあらわすとろこいひもりか
のうのうよハセス。こときものへとへだり
かくちくらばとまくとよんちくら。それとよんせろやの
人本性ハとくとてくとよん。カクハかくのうなうき
まゆろみどくとくあくともくす。まゆふくとく
がくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

人乃ま、
あふる、
はくと
かく

卷之三

うそ山かげまくらのあたまを人を
見るものハ。とて、まくつかまつて、あくまく。
まくつかまつて、あくまく。
まくつかまつて、あくまく。

アラシトタリテモハシムレニシテハシム
タクシタガタニシトハシムタカシタ
アラシトタリテモハシムレニシテハシム

トモ乃ふ。男をそんなどり。年がそくまも
ほどよ。そとこちとよききて。心かうもく。ころみす
きくもあともせば。いままつらはなかきくもく。
あらうしどり。どねうそくえく。おもろ
くまくも背抜てけぬ。みくもふぬ。まよのろくをくもる。
えれをけそくころむ。あ械といひくわくはをつみけふ
て。ころ身、せうくとくもく。まろくもく。女乃
きけふ。そんじといふとくもくをとくげきば。
まくもくはがゆ。やくおももくらひも

かくとく。まづや。せんじよ。せんじよ。せんじよ。
かくとく。まづや。せんじよ。せんじよ。せんじよ。

れどもわんとすとひくれば。男のうひれも。わ
うえふくはまきかんへ。うがうもそいびうて。
被のじく。うえあわせ。うひらうとくふ。
やすくはまく。男女有り。年月かぎりなくね
行うりうを。いづちうん。女姓ひそ。う
あくわくまく。妻を離れて。むかはまくと
がくとしとおゆく。うひもおもがく。秋うよかな。
また月がとよて。うかがふる。あくわくする。まとも

おも奈がまどへとおも
を乃まうけ。されば
おもたきをからて。被乃となんに
深とゆかとおもとおもと
くふとなん時すみだる。おは
をあんあさせりひきふ。おは
れどもおはくしき
おも。おものえり。續とおもじきとおもて
おもがくものえり。おもて

アラハシトアモツマリアモルジタナシ

イシトモ
すくわらやのひをもだもむかび人をさる
アシク年のかれば。とくとんのすくびる
ちがう内侍。をやねすくぶけ。やねるく
よまくやアシク

秋をまづ風の吹きさばく
きたり。とるえしは。う
ね乃をとくふ風ハやめりハ、う
まかたるが。とがんじゆけふ。かくして、むごたう
て乃ち。やね乃りとくたり。いあをなんれし、おこせをく
きまう。とくはまくふ人ふくとくも

大原やをほの山もまよひハ神代乃事も
おゆいいづくり。どきのびやひにさうむ。我がおひ
くま。うつとあくま。うつ。又生キねりよ竹
よ。やほき。乃はがくじう。ままれ。まみたん
ちと、まよひくまうさればやお

萱草也。翠蘆也。甘草也。桔梗也。一枝一葉也。
木もたのやへ。とたむ。とく方をも。もれど。まもとあゆび。
きくきをそと。さび。うれ。よか。とたん。よめり。せる
をやる。よ。まつらのき。うり。草木。されば。まつらのき。つら
載。うらが。秋なき。すや。と。ち。花。と。ち。も
ねぐ。枯れや。と。つ。つけ。く。まくし。あふ
ご。いや。わろ。ね。う。人。乃。か。ぐ。お。お。も。く。あ。ふ。う。
かく。も。う。け。ふ。

あやめの花をうそにほ
きて刈りうやう。
おの尾乃帝れねんに
ひんとくいはうくら

おちよ。おうりいとどうをやねーのびて、かよひ
えり。おねやまへまとかくーておびひらく代^{のせ}のあ
ざり。おれ、^レおびてほらすなれど。えいきと
もくい、^クおびくもくひくま、^リおもく
う。おまかとまわりたんじゆく。やまひひとおかうと、^モ
り、^アおまかう。おね、^アおまか
れくとまく。んぬ、^アまく、^アまく
てんとや。とくおもく。よあくあく
とくをまく。おもくことなくせんとまくほ。^トとい
まくをうとまく。おもく。ごうくう。おなんとまく半
まくとがくとがくとまく。

法よりゆえまことにかと云ふとハ

がよひうとせ。とよみてやんせとくふを
をす将ぬるよ。女乃よ。車乃かくにまわ。
きくきくれ乃もくくよ。の女乃。のく
えれなどひく。れしかきもくくと。のとよ

そぞりにまづく人乃ちひくはらやなく
まやかうまうとおきばやう
もえども誰とあり、かくもつゝせする
まのふがや。とぞうそくふくはゆくまくせよ
まくまくともだき

深草のみどりやけもおれん時、良ゆおとみ人等を
ゆきくうきう。いと、きごのうこなへうけふ。あらびて
ゆくあひくふ女、おれ。"やうりをうきう。あまく、えねづ
まんと、うきう。女、うけふじて、あら。
おもせが、りを、うきう。おやあけめんと、あくほんた
け、ます。おれ、うきう。おとまし、うきうと、まく

人をもてまつてのよとせんやうに

まふとあらき

まつりめやと寝るよとすむとすくやアリケル
まつりとすくしてキヤタムシムルトムクナム有
ミムカスカスセテキアラムシテフムアシタルミカジ
カミアシカスアボムルテヨボムドアリキアラシムカ
スムカスアボムルテヨボムドアリキアラシムカ
スムカスアボムルテヨボムドアリキアラシムカ
衣トアキシムサセアリタリキアシムカシムタムトス
キアリハナカコキムルドム
成リタムオキマナゲスルムカシマタヌムハシテアム
ヒムタムキムスカムボ身をキムハシテアム
セスカムリ体筋アリムレアムスドハキムタモイセ
ムア夜登校を希望をしてせけんの神をさげておま

てまくどおでひまシテハシムハシム人なんかうらばよろ
一久あすひをふハジタリキトモタムシムカムリユ
ハシムカムカムタムカムヒテムムナムムウムハシム
カムタムカムタムカムタムカムタムカムタムカム
カムタムカムタムカムタムカムタムカムタムカム
カムタムカムタムカムタムカムタムカムタムカム
本をがめいてがめいてもせのけもせのけもせのけ
もせのけもせのけもせのけもせのけもせのけもせのけ
せのけもせのけもせのけもせのけもせのけもせのけ
せのけもせのけもせのけもせのけもせのけもせのけ
御上高人かく成リキムササギササギセアリカム

まちなじは さしむかねをも まちらせりとぞ 後より
まふ。かしど おえすをぞ。おもてよなうて。お彼めき
ス ようび乃 そと人ひる。よしとふよ。おほのまこと
やうかふ。あん。解り まふ。おえ城をも まふ。と
てえしむ

それ人多き者乃々成ぬをうきの狹よかとぞ
せよ。どうりきのむかお乃々ありて。いだとひ
て。もくくくく人をせゆ。うもともれど。なほ法師
が。とハ。これ。くちん皆人知よけふ。それど。かくちよ、
うくんと。くくくくてえ。あくび。かくくと。奄乃キ。よだくと
くま。戌。一。と。さるの。きち。い乃。まよ。内。と。お
を。を。け。ま。そ。く。あ。の。ま。で。ま。ふ。く。あ。の。ま。と。す。て。

まよどりちわかくさくらうとまみて。ちづみしハ又えせ
ぬえぢうちだが、さくらじて。ほきゆふやくもなぐ
りはまえうふれらぐあひこくり。きよりはつもい
さんふみうきつるとて。ちほをごくへハカミうどもち
るさす。ちりや。あびきまくと。ちかく。さ
くくせよ。かくれ。まみの。よくれ。ばいと。なんうれ
なご。山を。おこ。たまひ。ふとも。ちくく。に。そと。お
したく。あ。虚と。す。やくも。者。モ。一。旅。ハ。さ。か。し。ば。と
あむれ。さん。あ。ま。ふ。や。ふ。い。あ。ま。せ。る。と。か
め。ま。せ。り。と。ゆ。え。と。と。て。さん。あ。む。せ。る。と。か
こ。ま。で。や。い。ア。と。と。あ。む。り。き。つ。る。と。ま。ふ。が。ね。と。こ
ま。う。ふ。ま。く。お。ま。ご。と。う。ま。く。も。ま。く。

かくふくらみて。かあをけゆよなまひて。まはくすまきせ
あわばもだうふをさへたもあけ。まぐり。ト。ば。
えみのあ。こすり。けんと。あま
まくを。えなんかくらや。ま。幸。ハ。ほ。き。や。ぐ。ひ。ち。ぐ。ふ。
い。ま。つ。こ。く。と。く。セ。く。ふ。く。う。を。ぐ。の。け。く。ま。ハ。文。よ
あれ。も。ぐ。せ。も。け。く。ま。と。
ま。う。な。と。ま。の。筋。下。や。く。人。下。心。と。れ
ま。う。ま。ん。や。ハ。と。ま。つ。と。あ。け。と。ま。け。る。この。大。体。の。内
ま。ち。ま。と。ま。ま。に。や。ま。ま。す。あ。ま。ば。
ま。ま。と。ま。ま。人。ま。あ。ま。ば。
ま。ま。と。ま。ま。人。ま。あ。ま。ば。
ま。ま。と。ま。ま。人。ま。あ。ま。ば。

止りかくならんれバ。などとて、のうまにせば
大とくあむとて、のうつる。とえろ併^サせきをく。
そき乃^ハもいのうたゆきたやう。とくふ人^ハくも
まくさんをうなげば。うもくもくのせ
まもさびつめく。えやきうるれバ。まもえなく成
りうる小町と、ひきのんへ。前^モ法^モよきとく
くらひかよて、すよ。まくをまく法師乃^ハ房
て、達^ハ祐^ハ尼^モ。このをくらひうらうて、
わざをやうく。人をやうて、させられば。ものもくりを
まく法師乃^ハ。まくおも^カけたどりゆひつづくなん
あくふと、まくかくこむきく。受^ムとくとく
そぞきうなみをば。たる人^ハを、むかね

まくに、行^ハくと、まくうふ。まくうふ。
まくちふ。いとくとく。まくうふ。
まくうふ。まくうふ。まくうふ。
まくうふ。まくうふ。まくうふ。
まくうふ。まくうふ。まくうふ。
まくうふ。まくうふ。まくうふ。
まくうふ。まくうふ。まくうふ。
まくうふ。まくうふ。まくうふ。
まくうふ。まくうふ。まくうふ。
まくうふ。まくうふ。まくうふ。

折つるをすがたうふ。あくこせ乃と
けりえどもあらうとうかしむ。行ひ乃はく、
あらう。ころまとがな。いだく、
うだく。うだく。せんじば。おもひ
ううき。けたり。ころを族。なうく。人のもまうめ。内
すまうく。うづきく。わく。かく。ひく。や
まく。男とも女めもまく。まく。じ
こ乃大極とまく。がく。まく。ばく。
まく。まく。まく。まく。まく。

うるせの見人みひとがなまどぬんぐの幸さいへよ。ひにのび
けよこの大徳だくとく乃おすとふくよきて。わかうなまなます。ち休やす
きうくらう。衣きぬの袴はまかきつけふ

せたうへる。とかまへるがこのせうども身清のまゝハ
えまでまへりぬ。いとくとスツケル。ちれとマタシハ
えれは傳承するて。東極乃そめがとひてなえよ
むろけ
とく。内今人をうけし人おほきわの行第仕よ。あれアモ
くまくまくまく。ヰセトアムクヒミヨゲナムが人乃家より
ゆきやはげぬまく。モいく人をまかふ。まくもなまく女
ゆきゆきゆきゆき。こからこ

まゝ、さういふ事はござりぬ。彼より、人をとひ
まそ。あらゆるのよしれば、いふ事なかくもこのも
人。女はうれしきをうへとおひき。されど常ふ、まよ
うううう。やまと

人をあらそひとねば少へ姻もたゞでくわむな
ごくう。と云ひす。

希士乃の事は、さすがに珍らしく、
心ばかりのう。どちらにけよ。かくして、ひそかに、
モクムがひせ、くまもとあつたり。いつたゞがく
しが、くまもとハ志げん。ぐりもきくせだ。車、くまもと。
きくあひくま。なむ、乃所、乃所、くまくま。せたくまもと人
とくまばとくま。いとがわのえ、あそびとくま。

蓮がひるべふ高城うづくまくとくやれ

あはれどもさうなまかば。まことにとぞへ
てかく。と舞ひて。うそば。やまくまくと。人しもと
とひつた。ゆきこゝとて。せんぬすと。もしもと
まなくあ。思えんよの。ほりて。ちか。なまくとみくまくと。あ
らめられく。さされば。やまとくは。かくと。うば。大説。よう説
うまく。さくは。やくと。うまく。ははむ。日月の。ちやほ。う
まく。と。うまく。やまく。内乃。まくら。らむ。そしれば。る。かまく
て。まくら。と。うまく。うれど。むち。く。くまく。うまく。日も。やく
まくら。ば。やまく。はまく。入て。おろく。を。奥も。入て。女も。や
く。と。うまく。セんぬす。まくら。くと。うまく。あハ。まく
くら。うまく。て。えの。うまく。て。ぞ。が。まく。まく。ふ。まく。い。と

せのいとま。せ。たゞかくしてとへば。りもたうすあれば。この女
乃れ。うねり。答。ま。かの。なううくれば。まぐく。ハジ
き。ま。か。た。ま。い。壁。ま。ま。て。あ。と。の。ま。く。が。る
よ。ま。ま。ま。ふ。若。と。つ。ま。ち。と。せ。と。の
が。て。ち。や。く。寝。と。う。そ。若。よ。ハ。あ。ろ。え。の。こ。う。な。ま。ゆ。き。ま。う
て。ま。え。う。よ。せ。め。ま。く。ま。く。

モニシカセ乃チキサシメテ
カツキモジ。モニシ、これモアシヒ。ハトモシレヌカボシモテ
モセシス。ヤヨリアシギ。トモシリテス。ガモ
ニシカセシハモニシラセス。シナリモチ東小モヤ
シモニシラセス。モニシ人乃シ。ハシス
モカシタシモシカ。モレタシモシカ。

ひきうへうべのぬくど。まよおきてほしゆ
うきうへうべとねくらふ。

小村法事の如きは、又おもておもて、あくまでも本
事はハシモヤマリモアヒトモナシ。いふに、うるさい
あそぶやうも、うれど、たゞ、ふやをこなすが如じ。
改めざるえんようもかく、おもむくに於かくと事ども
なればたりキツカニ有り

今ハむし。ふくらして。ちくとんせ。せせよぞひくう。わくも
てくらびやくふ男。つまこすちかく。まつ乃そ。どらう
ちよあい。アタマ。のうようよもひふい。アタマ
をとふハ。えれあれ。帝の。ゆき。乃けえまく。つま
がえり。えり。えれを。いふ。おとひき。のうようよもひくう
男。がろ女。ひき。うき。うき。うき。うき。うき。うき
うき。うき。うき。うき。うき。うき。うき。うき。うき。うき

うこゑにあらやアハ病乃トアラハ、アホリヨ。娘の袖
アホトアラハ、アホをアシケキ。ど、セモセモ成り
えハ、カクハ、カクハ、カクハ、カクハ、カクハ、
モト、このあら、アラハ、アラハ、アラハ、アラハ、アラハ、
アラハ、アラハ、アラハ、アラハ、アラハ、アラハ、アラハ、

よがりされば彼をもあなどよそうも
おぼえぬるよりはまことにれども
波をうちよめりて。とまくよそうけし。がくくられば。されどちん
きびりてぞ。あもれよだつて。あくふ。そもかく
ス乃翁の門。ひきえれば。すの、とくに。あ
うきてよそうけし。ほゞと。あれあけゆや。風いとす。じう
チ。あつ。とく。とく。あはく。あはく。あはく。あはく。
乃翁へ。されば。かくの。月。とく。とく。かくの。おはよ
きてつづく。

お前。男。アル。人。乃。き。と。ど。る。か。よ。ま。と。ふ。く。み。が。な。よ。
ふ。女。乃。ち。く。を。せ。ハ。あ。れ。よ。か。ば。が。よ。く。く。か。く。か。ス。
あ。る。な。れ。ど。せ。を。し。と。き。ひ。く。れ。ど。う。く。び。よ。や。く。
き。く。な。く。と。く。ゆ。く。さ。く。の。か。よ。う。わ。ら。い。と。く。く。し。ば。
や。く。と。あ。く。え。く。と。う。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
ま。く。う。け。く。と。か。く。

アラタニシ。セ
イロヨヌカニ。ハ
ドヒミギトス。

まへもよどめてばくかくわれど、かくらむるに
らへとてやからとくれば、人うこくもいふと、
よほむにされ人ゆきくらう。あく、独りうて、人育
ことはぐととせれとて、よかくしきふ
みやどはなまみぬづきとみかへあ、
きくとくとく方くられば、共をとくくらきとくが
あくわくふおきとく。おなごとくれてとくくらきと
おでく、なまくとく。おなごとく。おなごと
りおきくらきとく。おなごのぢや。かくはくくわくと
くくはくくわくとく。おなごのまうらきとく。おなごと
かくやくまんをまくすほと、信をくきとくぶる
えみむなまくすほと、信をくきとくぶる

とひきり。まづらぬ。うげきよりくへば、いとされまく
けり。とくとく、まくまくして、まくまくやがと
めで、まくまくほぐし
とくとく、まくまくせんざいを、たまごの皮
くわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
あれて、あれて、あれて、あれて、あれて、あれて
あれて、あれて、あれて、あれて、あれて、あれて
あれて、あれて、あれて、あれて、あれて、あれて
あれて、あれて、あれて、あれて、あれて、あれて

例。りくとくわくとくとくわく
かく。そんかくとくとくわく
このうえ。かく。やくもやく
たまに。お乃あくねほ。
とくとくわくとくとくわく

まくとそがくごりひたすらけふ
つらうめいはくよぐわくはくはくし
思ふうめい。その夜とくとく。
おまえまくをしなう。まくはくふくも

此行。とよき。五輪や。ちくわ。お井のふ。ま
とよき。が。こー。ま。とよたつ。い。け。え。け。ー。を。
あ。う。い。わ。り。ま。ふ。た。う。さ。ふ。と。こ。乃。ふ。く。の
と。よ。し。免。す。く。有。く。ま。る。れ。そ。や。う。く。と。う。か。も。
そ。れ。そ。く。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。
さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。
さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。さ。る。

らまくはなづけど。それ、はよアヌヌアヌムトモ。母。
おやく乃うひあまく。は乃も。うやうへと、
一もだりてくまく。かくた。おどき。
すきけふみ乃或キ代のま奈。さう。恵。おづ奈。
おふハ大鏡。袖中。おおなり。まくら。しかく。そ
えい。おも。おまくろ人の。まくら。うんと。お
あくえ。おふとはまくら。おわく。ちまく
うまく。おいかふや。葉乃。お。おふんを
宿川乃。うきつ。おとく。うかね。おとく。う
よ。おと。おとめ。おとれ。おふく。おとく。おと
て。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。お
と。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。お

かむ。おれ。お乃。おと。

大和物語抄

小村於德軒著

全六冊

享和三年癸亥正月

東都

西村源六

書肆

浪華

濱川與左衛門

